

CAPSULE 音響 ご紹介資料

CAPXLE株式会社 / お店のオーナー・店長の方向け（音響の知識は要りません）

1. こんなお悩みはありませんか

- ・ 席によって、低音のこもりや聞こえ方が違う。
- ・ 機材のつなぎ方が合っているか、確かめる人がいない。
- ・ つまみを触ったあと、良くなったのか耳の記憶でしか比べられない。

2. CAPSULE 音響が行うこと（6 つの手順）

手順	中身
1 機材を撮る	型番ラベルを接写 → 候補を出す → ご自身で確かめて登録
2 配線を撮る	信号の流れ図の下書き → ご自身で直す → 疑わしい点の一覧（極性・音量の段取り・グラウンドループ・レベルの不一致・ファンタム電源）
3 部屋を入れる	寸法と材質を入れる → 低音などの試算（あくまで目安）
4 スマホで測る	いくつかの場所で、スイープ音を鳴らして録る → 周波数特性と残響時間
5 指示を読む	どのつまみを、どれだけ。下げるところから。音は上げません
6 測り直して比べる	同じ場所で測り直し、前と後を並べる

3. 画面で見られるもの

架空 例として、架空のお店「ライブバー こだま（架空）」の見本画面で説明します。実際のお店のデータではありません。

- ・ **3 色の判定**：「この端末で測れます」「測れますが低音は参考です」「この端末では測れません」のいずれかを、一言で表示します。
- ・ **周波数特性**：低音から高音までの強弱の形。スマホで当てにならない帯は灰色の参考として表示します。
- ・ **残響時間**：帯ごとに表示します。測りきれない帯は、数字を出さず「不足」と表示します。
- ・ **前と後の比較**：「低音のこもりが減りました」のような言葉で表示します。

見本：<https://audio.capsule.work/demo/>

4. 正直にお伝えすること

- ・ スマホのマイクでは、音の大きさそのもの（dB SPL の数字）は測れません。見られるのは、同じ場所・同じスマホでの前と後の差と、場所どうしの相対的な比べです。
- ・ 低音の試算は目安です。測定を優先します。
- ・ いまの版は、写真から機材を読む AI と言葉を整える AI が仮の部品です。「写真から自動で型番を当てる」ことはお約束しません。本物の AI による読み取りは準備中です。
- ・ Bluetooth での再生は未対応です。iPhone・Android の動きは実機で確認中です。

5. 安全のために

- ・ 営業時間外に、ほかに誰もいない状態で測ります。
- ・ スピーカーから 1m 以上離れ、耳栓もご検討ください。ミキサーの出力は最小から、少しずつ上げます。
- ・ スイープ音は小さく始まり、停止ボタンがあります。夜間など、近隣に音が漏れるおそれのある時間は避けてください。

- 写真は端末内で作り直し、位置情報（EXIF）を消します。顔や書類は写さないでください。録音は既定では保存しません。
- 利用規約は準備中です。

6. 料金の形

月額はありません。かかるのは 2 つだけです。

- 保存：1 アカウント（全サービス合計）で 500MB まで無料。超えた分は保管の実費×2.0。
- AI の利用：共通のクレジットから、実費×2.0 を引きます。
- 測定と解析そのものには AI を使いません。お店・場所・測った回数ごとの料金はありません。
- お店に伺っての調整は、別のご相談です。ご相談ください。

7. 始め方

まずは、お手持ちのスマホで <https://audio.capsule.work/mic/> を開き、マイク試験をお試ください。ログインも保存もありません。このスマホで測れるかを確認られます。そのあと、CAPSULE のアカウントで <https://audio.capsule.work/app/> にログインします。

詳しい説明：<https://www.capsule.work/audio/> / お問い合わせ：info@capxle.com

※記載の数値・金額は目安です。